

# 熱戦続く紀三井寺



# プレーで体現



「高校野球100年」と書いた長さ55mの横断幕も開会式でお披露目された(9日)

全国高校野球選手権和歌山大会は連日、和歌山市の紀三井寺球場で熱戦が続いている。紀南勢は15日までに10校すべてが登場。直接対決もあったが、16日現在で3校が勝ち残っている。選手たちは一球に懸ける思いをプレーで体現。勝敗を超えた感動が、観客を引き込んでいる。大会のこれまでの写真を写真で振り返る。(敬称略)

相手打線を抑える田辺工業の那須悠哉(10日、▽橋本との1回戦)



一球の行方をベンチから見守る神島の選手たち(10日、尾林との1回戦)

スタンドから声援を送る新宮の保護者ら(9日、桐蔭との1回戦)



3年ぶりに初戦を勝ち、笑顔でスタンドへ報告に向かう新宮ライン(12日、紀北農芸との2回戦)



ベンチ前で円陣を組む南部臨神ライン(11日、和歌山商業との1回戦)